

古いけど新しい本？

出版した年は昔だけど、今読んでも面白い本



『あしながおじさん』
ウェブスター作 / 恩地三保子訳

1912年出版された本。
主人公のジュディが、その日のあったことをおじさま宛に書く手紙は、いきいきと書いて楽しく読めます。また作者自身が書いた挿絵もおすすめポイント！
手紙...今だとメール？になるのかな



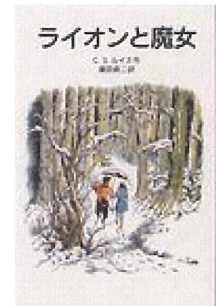
『ゲド戦記 I 影との戦い』
ル＝グウィン作 / 清水真砂子訳

1968年出版された本
アニメ映画『ゲド戦記』の原作になった本
1巻はハイタカの子供時代～大賢人とよばれるきっかけになったお話。



『とりかえばや物語』
現代語訳 / 田辺聖子

平安時代の末期に書かれた物語といわれています。
多くの作家が現代語訳をしていますが、白川のおすすめは、田辺聖子さんです！
この機会に古典の世界に一步踏み出してみよう！



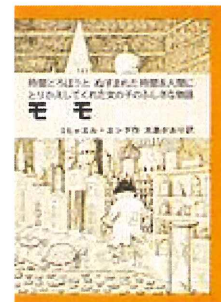
『ライオンと魔女』
ナルニア国物語シリーズ
C.S.ルイス作 / 瀬田貞二訳

1950年から1956年にかけて出版
映画化もされています！
地方の古い屋敷にやってきた4人
きょうだいがある日大きな衣裳だんすに入ると、雪の降りつもる別世界、ナルニア国だった。



『若草物語』
オルコット作 / 中山知子訳

1868年に出版された本。
150年以上たっても読まれている小説。アニメや漫画にもなっています！
白川は子供時代に、アニメ→漫画→小説とすすみ。
昨年『続 若草物語』を読みました。



『モモ』
ミヒヤエル・エンデ作 / 大島かおり訳

1973年出版された本。
町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。
町の人たちはモモに話をきいてもらおうと、幸福な気持ちになるのです。
そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り...